

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674900164
法人名	医療法人 幸望会
事業所名	グループホーム スマイル園
所在地	鹿児島県出水郡長島町鷹巣3681番地5 (電話) 0996-86-1152
自己評価作成日	平成24年2月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

*母体法人の運営する医療機関と渡り廊下でつながっており、緊急時の連携体制がとれています。
 *自家菜園で季節の野菜を作り、採れたての物を食材として利用しています。また、海の幸が豊富で、新鮮な魚料理を提供しています。
 *ご家族参加の花見や家族会、面会、園だよりなどでご家族と事業所との関係づくりを大切にしています。職員も地元の方がほとんどで、利用者本人やご家族とも面識がある方が多く良い関係が保っています。また、秋に法人の祭りを開催しており、ご家族はもとより町内の方が300名ほど集まり、職員の出し物やボランティアの方の出し物で楽しんでいただいています。
 *スタッフの子供が頻繁に遊びに来ており、家族同然のように一緒に遊んだりして成長を楽しみにされています。
 *保育園、幼稚園、小学校の子供たちの慰問が多く利用者も楽しみにしています。また、小学校からは学習祭りなどの行事に誘ってもらい、見に行っています。
 *2ヶ月に1回勉強会を行っています。担当を決めており、自分たちで課題を見つけ、調べて担当が他の職員に教える形をとっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・集落の敬老会等への参加や小学校・幼稚園・民生委員・青年団などの慰問も多く、漁協からの差し入れもある。災害時の地域協力隊も組織されており、法人の祭りには近隣の人たちが多数参加しており、地域との交流やつながりを大事にしている。
 ・年2回の家族会や花見への家族の参加や面会も多く、園だよりを年3回発行するなど、家族との関係づくりを大切にしている。
 ・協力医療機関との連携ができており、母体医療機関が渡り廊下でつながっている。緊急時にすぐ対応でき、利用者や家族にとって安心な環境にある。
 ・重度化や終末期に向けた対応については、マニュアルを作成し対応に備えている。また、看護師を配置し看取りについて実践している。必要に応じて本人や家族の意向を確認し、安心して最期が迎えられるように医師や職員が連携をとり、支援していくという方針を共有している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全員参加の話し合いで理念を作り、毎月の話し合いの場でそれに関し、気づきがあればスタッフ、管理者問わず意見・注意等を出し合うようにしている。	理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも載せている。必要に応じて職員で話し合い、見直している。月1回のミーティング等で、理念について確認し、よりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	慰問や行事の際、子供たちが来園して地域との交流を図っている。地域の行事に可能な限り参加、顔出しをし、つながり作りを行なっている。	集落の敬老会に参加したり、小学校や複数の幼稚園・民生委員・青年団などの慰問を受け入れている。漁協からの差し入れもある。災害時の地域協力隊も組織されており、法人の祭りには近隣の人たちが多数参加しており、地域とのつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や介護相談員の訪問時に認知症のことを詳しく説明したりしている。中学校への職場体験の呼びかけもしていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議で、利用者、施設の状況を報告し、意見を貰ったり、地域や家族からの意見、質問を頂き、その場で解決できるよう努力している。	運営推進会議に集落代表や町役場担当者・家族が交替で出席し、定期的開催している。活動内容等や外部評価の結果について報告し、意見交換を行いサービスの質向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議や地域ケア会議などでも連携をとり、施設の状況や取り組みを伝えたりし、必要な場合協力を得たりしている。</p>	<p>役場が近くにあり、必要に応じて担当課への相談や情報交換を行っており、役場主催の研修会等へ積極的に参加し、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。運営推進会議に町役場担当者も出席している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>22年度は事業所内の勉強会で取り上げた。今後も定期的に行っていききたい。</p>	<p>身体拘束をしないケアを実践しており、必要な場合には同意書も準備している。事業所内での勉強会も2ヶ月に1回行っており、日中は玄関の施錠をせず、利用者が安全に生活ができるように取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>老人虐待法の定義と実態について定期的に勉強会を開き職員の認識を新たにし防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>22年度は事業所内の勉強会で取り上げた。今後も定期的に行っていききたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関する説明は、重要事項説明書に基づいて管理者が立会い、信頼を得ながら理解、納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会にて家族から意見を頂き、利用者からも随時要望を聞いている。また、意見箱の設置や苦情の受付窓口を設けている。また、会議の折にも常に問いかけ、意見を取り上げる姿勢を示している。</p>	<p>意見箱を設置しており、利用者からは日常の支援の中で随時意見や要望を聞いている。家族からは年2回の家族会や面会時を活用し、意見や要望を聞き、職員全体で話し合い、解決できるように努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>最終決定は法人代表が主となるが、月1回のミーティングでスタッフの意見を把握して、検討、決定したり運営推進会議には計画作成担当者等のスタッフの参加を行なっている。</p>	<p>毎月のミーティング時に職員からの運営に関する要望等を聞いている。管理者も現場で日頃から職員とコミュニケーションを取るよう心がけ、日常的に意見や要望等を聞き、運営に反映させるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に対し、積極的に支援し向上心をもてるよう努めている。また、親睦会を年に数回ひらいている。職員旅行も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ミーティングでの勉強会では自分たちの勉強したいことのほかに、スタッフの経験に合わせたテーマを出したりしてそれぞれにトレーニングとなるよう図っている。またスタッフの移動で、コミュニケーションを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域ケア部会で地域の同業者との意見交換を行なっている。また、外部研修も意見交換の場として活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所し、本人や家族から情報を聞き、生活暦をふまえた会話をもち、コミュニケーションのきっかけとし、安心感を与えられる関係づくりに努めている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の面談で本人も含め、求めているものを理解しどのように対応出来るか話し合い、疑問や不安を軽減できるような対応を心掛けている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要とされている支援に応えられない状況や条件であっても相談をよく聞き、適切なサービスの紹介等心掛けている。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年間行事や季節の食べ物を大事にした生活を心がけその折々に、人生の先輩からアドバイスや、会話の出やすい環境を心掛け互いに助け合える関係作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的な園便りで状況・行事報告を行い、面会や必要時の連絡の時にも、近況を伝え、家族と情報を共有し、共に考えることを心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同集落の知人友人が面会に来られたり、地域の行事等を話題に盛り込んだり、ドライブでは自宅付近に出かけたりしている。	利用者は地元の出身者が多く、隣接した医療機関への通院時に知人や友人の訪問が多い。ドライブでは自宅付近に出かけたりして、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	役割分担で、互いに助けられたり、助けたりの関係作りに努め、トラブル調整もすぐに介入せず入居者同士の係わり合いをみながら行なっている。また、毎日、日誌に書きとめ情報共有に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も地域の方なので家族を含め会う機会も多いので、その後の経過把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活の中で何を楽しみにされ求められておられるか、話をしたり表情から読み取ったりして把握に努めている。困難な場合、スタッフ皆で本人の思いを確認することを心掛けている。	利用者からは、日々のふれあいの中で思いや意向の把握に努め「気付きノート」を活用し、言葉が不自由な人には筆談で対応している。家族からは入居時や面会時に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるようにケア会議などで情報を共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時や必要時の情報収集にてその方の生活暦の把握に努めている。また、記録や7表にて入居中の経過なども把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ全員でカルテや第7表を見て、一人ひとりの生活リズムを把握し、利用者にとってどのような生活がよいかアセスメントを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送りやミーティング、介護相談員、家族会、運営推進会議などで意見交換を行ない、面会に合わせて担当者会議を行い、介護計画の作成に活用している。	モニタリングは毎月実施し、現状を把握している。介護計画の見直しも3ヶ月毎に行っている。状態が変化した場合は随時見直している。利用者や家族の意見を聞き、担当者会議を行い、利用者一人ひとりについて、現状に即したプランになるように作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを用意し、経時的な記録とその方の様子が視える記録をとっている。職員間の情報の共有を徹底し、担当者会議を基に介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>母体法人が運営する医療機関と隣接しており、医療的ニーズが発生した場合には本人や家族に柔軟な対応が取れるよう連携している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>警察、消防からの協力を得ている。小中学校、保育園、幼稚園へは訪問の依頼の働きかけを行ない、年数回実施している。運営推進会議にて役場や公民館と連携をとっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体法人が運営する医療機関と隣接しており、主治医の定期的な訪問を受けており、状態の変化があった場合は早急な対応をとっている。また、必要に応じて他医療機関への受診も行っている。</p>	<p>希望のかかりつけ医への支援体制を整えており、通院は家族が対応している。母体医療機関が隣接しており、定期的な往診や必要に応じて歯科医師の往診もある。協力医療機関との連携ができており、緊急時に対応ができ、利用者や家族にとって安心できる環境である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師を常勤で配置し、また、定期的な訪問看護や居宅療養管理指導を受け健康管理や状態変化に応じた支援を行なっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際は情報の提供を行なっている。また、家族・スタッフで協力し訪問したり病院関係者と情報交換を行ない、速やかな退院支援に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナルケアのマニュアルを作成し重度化、終末期への対応に備えている。必要に応じて本人や家族の意向を確認し、安心して最期が迎えられようように医師、職員が連携を取っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、マニュアルを作成し対応に備えている。看護師を配置し本人や家族の意向を確認し、安心して最期が迎えられようように医師や職員が連携を取り合い、支援していくという方針を職員が共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当のマニュアルや事故発生時のマニュアルを作成し、定期的に勉強会を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災マニュアルを作成し、2名の防火管理者を中心に日中、夜間想定で避難訓練や消火器の使い方の訓練などを年2回行っている。スプリンクラーと自動通報装置の設置も済みであり、毎月1日に通報訓練を行っている。また、火災時の地域協力隊の存在もある。</p>	<p>避難訓練は年2回実施し、消火器の訓練も行っている。災害時の地域協力隊も組織されており、毎月、通報訓練を行っている。消火設備の点検も定期的に行い、スプリンクラーも設置している。非常用の食料や水を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	地元の言葉での会話で親しめる環境作りをしているが、年長者としての敬意を忘れないよう心掛けている。トイレの声かけ等は羞恥心に配慮した言葉掛けに留意している。	ミーティング等で利用者に対する言葉使いやトイレ誘導時の声かけなど確認しており、信頼関係を大事にしたプライバシーの確保や人格を尊重した支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で言葉として出る意思だけではなく、時間や本人の動き表情から推測し、尋ねたりして希望の表出や自己決定の支援を心かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れの中で、一人ひとりのペースを大切に、それに合わせた対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己での身だしなみが困難な方には、STで声かけしながら介助している。散髪は理美容院の利用を支援したり、希望の方には本人の望むカットもしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	園の畑で利用者と一緒に収穫した野菜などで、食卓を囲む時が多々あり、その都度、園で皆さんの手をかり作り収穫した物だと話し楽しんでいただいている。	献立は、母体医療機関の献立を参考としており、園の菜園で収穫した野菜や差し入れの魚など、新鮮な食材を使い調理を行っている。利用者も下ごしらえなどできる範囲で手伝っており、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの毎日の食事摂取量や嗜好品の把握に努め、食事量の少ない方には食事形態の工夫や栄養補助食品、点滴など、Dr. Nsとの連携を図り、適切な支援を心掛けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、眠前に状態に合わせた口腔ケアで肺炎予防を図っている。義歯の出し入れの困難な方などは介助にて行なっている。夜間は専用洗浄剤を使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状態に合わせてオムツやリハビリパンツ、布パンツの使用を考慮している。排泄パターンに合わせたさりげないトイレ誘導を行い失敗意識や不快感の軽減を図っている。	個室にトイレが一部設置されており、自分でできる人は対応しやすい環境である。排泄記録にて習慣を把握して、利用者一人ひとりにさりげない声かけでトイレ誘導を行い、できるだけおむつをしないで済むように排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分補給、食物繊維の多い食材での調理等排便を促す工夫をして、それでも見られていない場合個々に合わせた下剤、整腸剤での調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>一人一人の希望の入浴は出来ていないが必要時には臨機応変に対応し、朝から声かけし、入浴後の服の準備などしていただき、衣類のプレゼント等話題を盛り込みながら入浴を楽しみなものとなるよう支援している。</p>	<p>入浴は週に3回のペースであり、利用者の希望を尊重している。一人ひとりのそれぞれのペースで入浴を楽しめるように配慮しながら個別に入浴支援をしており、入浴剤などを使用したりして、気持ちよく入浴できるように支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの体調や生活リズムに応じて自室やソファにて休んでいただきゆっくり休息がとれるよう支援している。週1回のリネン交換と汚染時の交換で清潔で気持ち良いものとしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬剤師による居宅療養管理指導を受けたり、服用している薬の内容を明記し理解に努めている。また、そそれぞれに合わせた与薬を行い安全、確実な服用に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>旬の食べ物などの皮むき、下ごしらえなどしていただき、食事に出すことよっての喜びを感じていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>定期的にドライブを行ったり、園の畑でスタッフと一緒に収穫したり、地域の行事に参加したりしている。</p>	<p>天気のよい日は散歩をしており、ドライブや地域の行事に参加している。園の菜園での収穫作業など一緒に行き、家族の協力を得て買物なども実施しており、歩行困難な方も一緒に外出している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望により職員預かりにて散髪、行事等を持ってもらい使用し、記帳し管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の要望に応じて家族の方に連絡している。職員が園便りにて入所者の様子など家族の方へ伝えている。また、年賀状を出し、新年を迎える喜びを感じていただけるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常に清潔が保てるよう配慮し、シンプルに整えている。生活感や季節感は飾る花を含め園で取れる野菜などを多く取り入れている。</p>	<p>食堂は開放的で家庭的な温かさを感じさせる。共用空間は利用者の作品や写真などが展示されており、季節感を大事にした飾り付けがなされている。テレビのあるホールも別にあり、ソファでゆっくりと落ち着いて過ごせる環境になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビのある人の集まるホールだけでなく、食堂の脇にもソファを置き思い思いに過ごすくつろぎの居場所作りをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が必要な物、馴染みの物などは家族に頼み、持ってきてもらっている。TVをよく見る人は部屋にTVがある。</p>	<p>居室は洋室で、ベッドや整理ダンス・椅子が備え付けられており、トイレが設置されている部屋もある。居室には本人の使い慣れた家具等や手作り作品・家族の写真等が飾っており、利用者が安心して暮らせる配慮がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレやベットに手すりの取り付け、椅子に名前を書いた座布団を敷いたり、部屋の戸に自分で作った名前を貼っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない